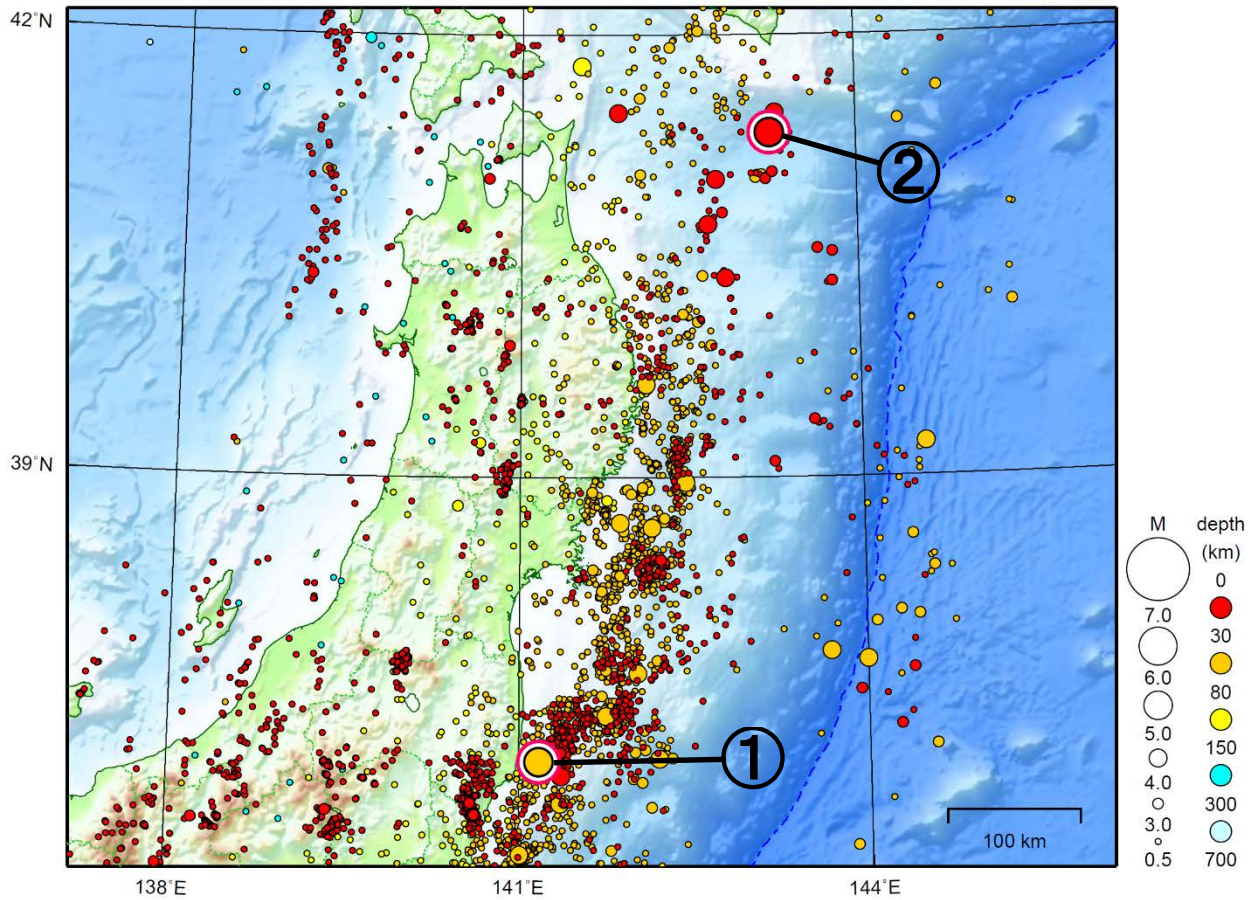


東北地方

2018/11/01 00:00 ~ 2018/11/30 24:00

N=4225



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 11 月 23 日に福島県沖で M5.0 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ② 11 月 28 日に青森県東方沖で M5.7 の地震（最大震度 3）が発生した。

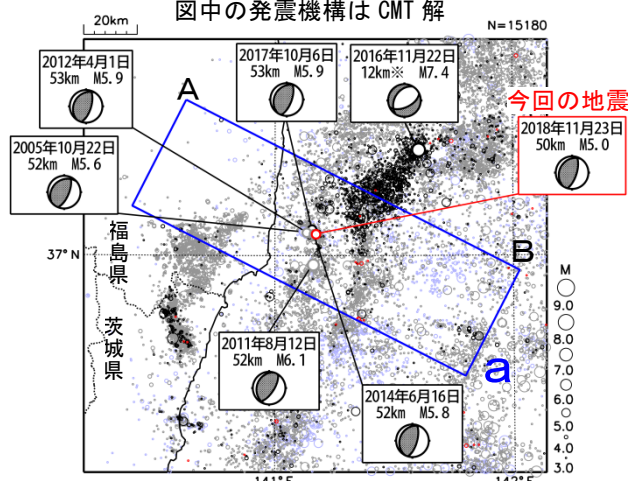
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

11月23日 福島県沖の地震

震央分布図

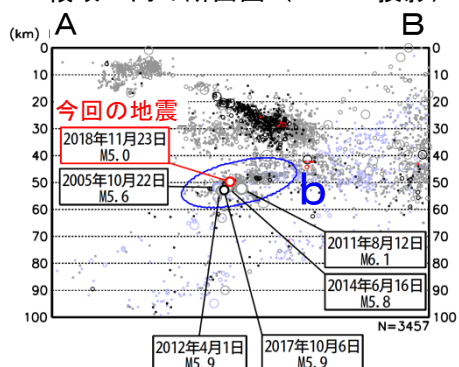
(1997年10月1日～2018年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を○、2011年3月
11日～2016年11月21日に発生した地震を薄い○、
2016年11月22日以降に発生した地震を濃い○、
2018年11月に発生した地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解



※2016年11月22日の地震 (M7.4) の深さは
CMT解による。

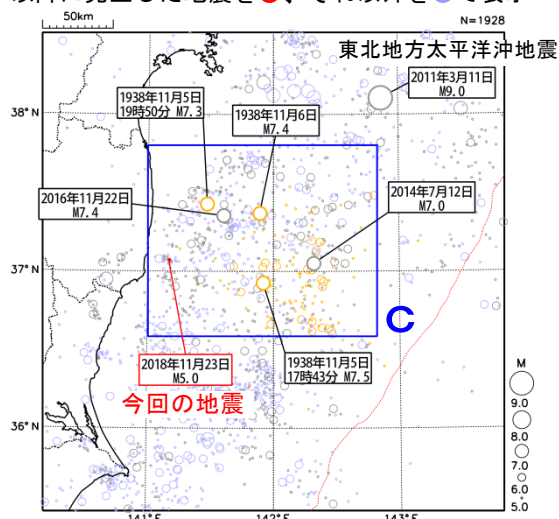
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月5日～11月30日に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を○、2018年11月
以降に発生した地震を○、それ以外を○で表示

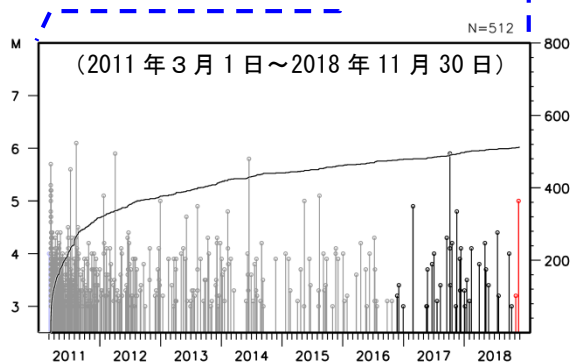
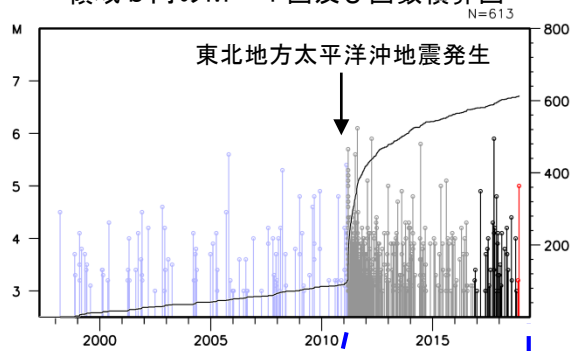


2018年11月23日23時30分に福島県沖の深さ
50kmでM5.0の地震 (最大震度4) が発生した。こ
の地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方
向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと
陸のプレートの境界で発生した。

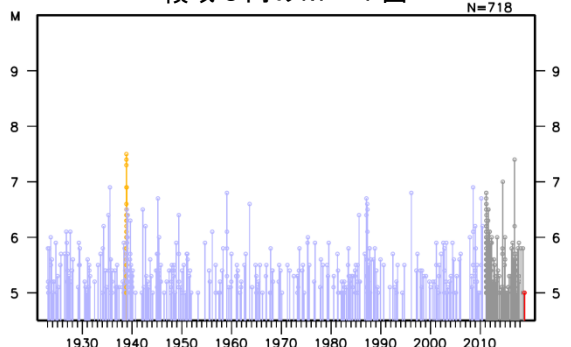
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震
の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011
年) 東北地方太平洋沖地震 (以下、東北地方太平
洋沖地震)」の発生以降、地震活動が活発化し、
M5.0以上の地震がしばしば発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央
周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43
分にM7.5の地震が発生した。この地震により、
宮城県花巻で113cm (全振幅) の津波が観測され
た。この地震の発生後、地震活動が活発となり、
同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発
生した。これらの地震により、死者1人、負傷者
9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生
じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



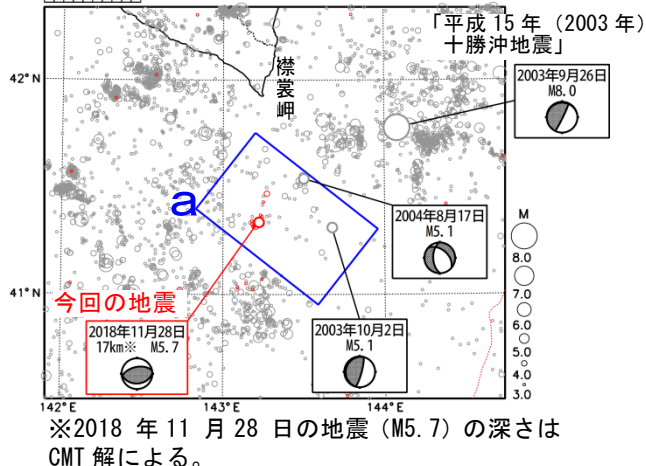
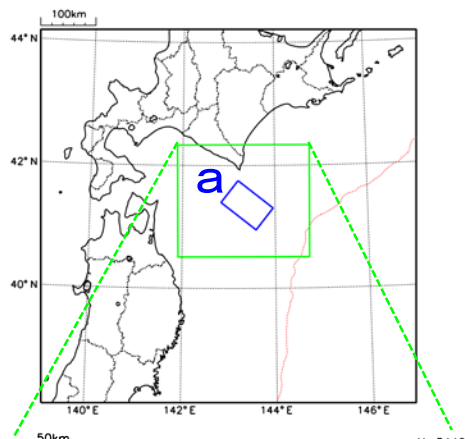
領域c内のM-T図



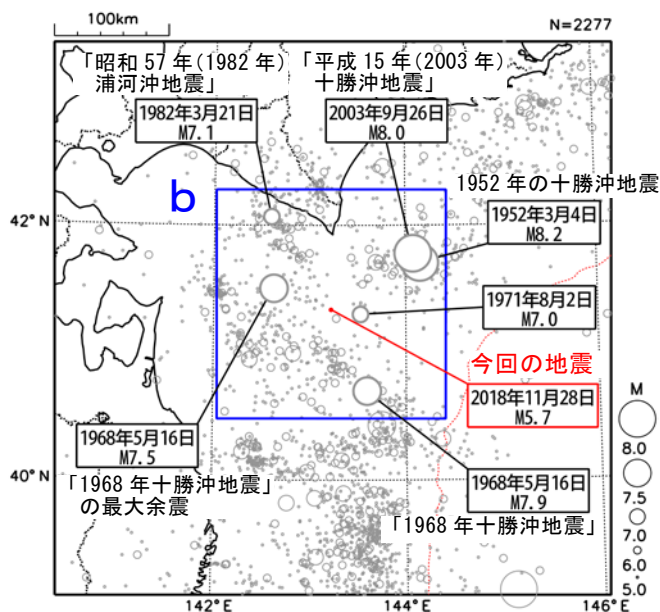
11月28日 青森県東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2018年10月以前に発生した地震を○、
2018年11月に発生した地震を●で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図
(1923年1月1日～2018年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
2018年10月以前に発生した地震を○、
2018年11月に発生した地震を●で表示

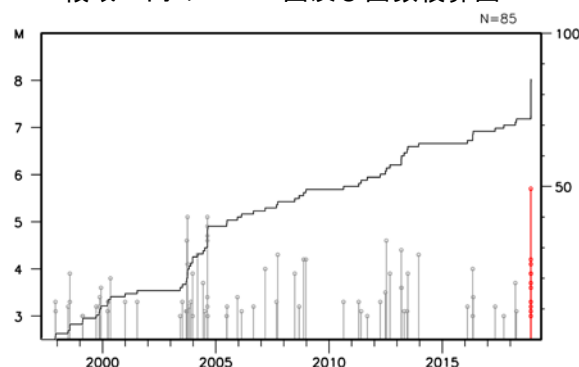


2018年11月28日11時23分に青森県東方沖の深さ17km（CMT解による）でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、地震活動が周辺の活動と比べると低調である。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M8.0以上の地震が2回発生している。1952年3月4日にはM8.2の地震（1952年の十勝沖地震）が発生し、青森県八戸で200cm（全振幅）の津波が観測された。この地震により、死者28人、行方不明者5人、負傷者287人などの被害が生じた。（「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

